



株式会社 **乃村工藝社**

2016年度(平成29年2月期) 第3四半期決算補足資料

1. 2016年度 第3四半期 決算概要

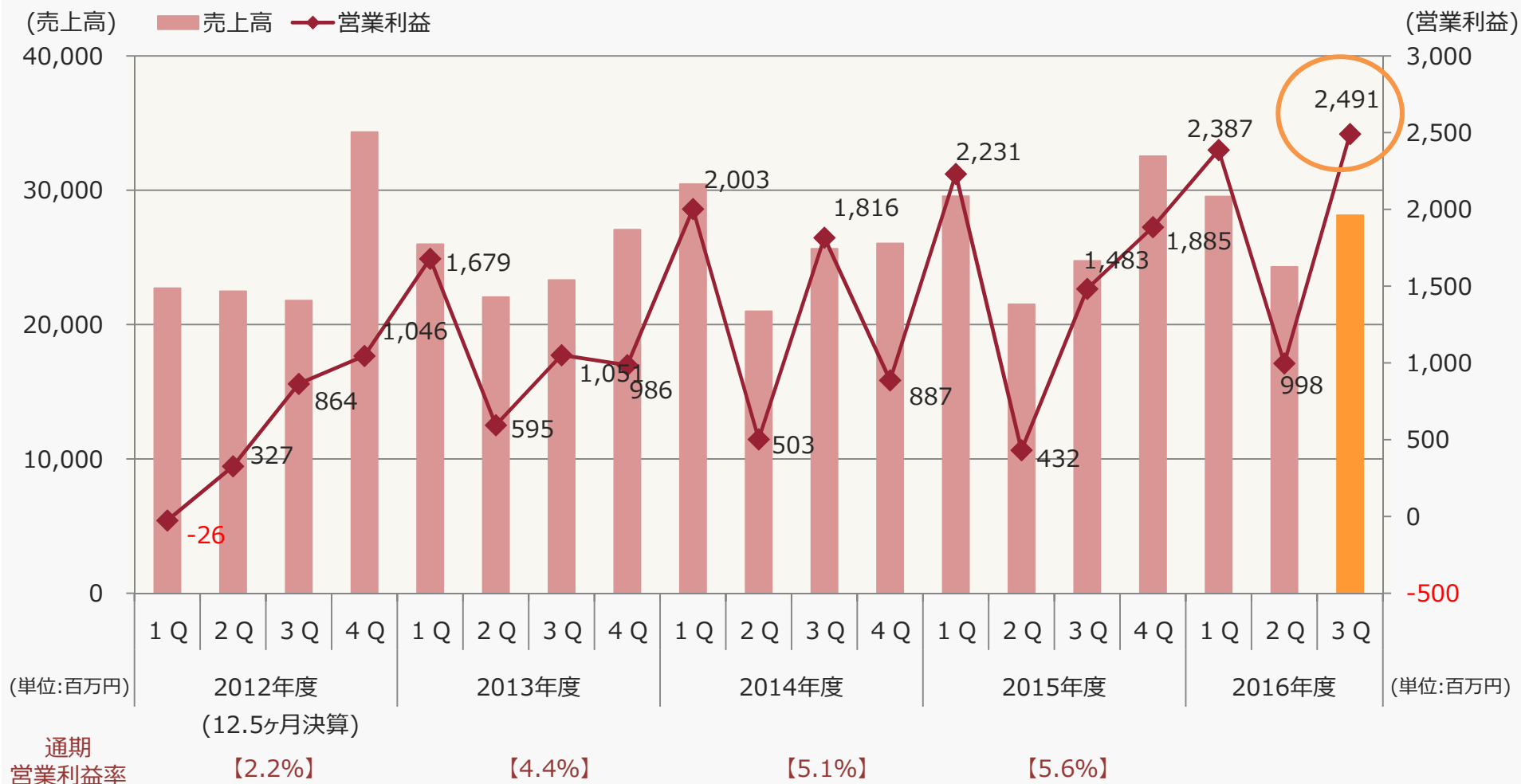
2016年度 第3四半期 業績ハイライト

- 案件規模の大型化および大型案件の完工により前年同期に比べ増収となった
- 売上高の増加に加え、原価管理の徹底により売上総利益率が向上したため、大幅な増益となった

＜第3四半期＞ (単位:百万円)	2015年度		2016年度			
	実績	対売上高 構成率	実績	対売上高 構成率	前年同期比増減額 (率)	
売上高	75,802	100.0%	81,970	100.0%	6,168	8.1%
売上総利益	13,665	18.0%	16,483	20.1%	2,817	20.6%
営業利益	4,148	5.5%	5,877	7.2%	1,729	41.7%
経常利益	4,279	5.6%	6,049	7.4%	1,769	41.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,564	3.4%	3,978	4.9%	1,413	55.1%

売上高・営業利益の四半期推移

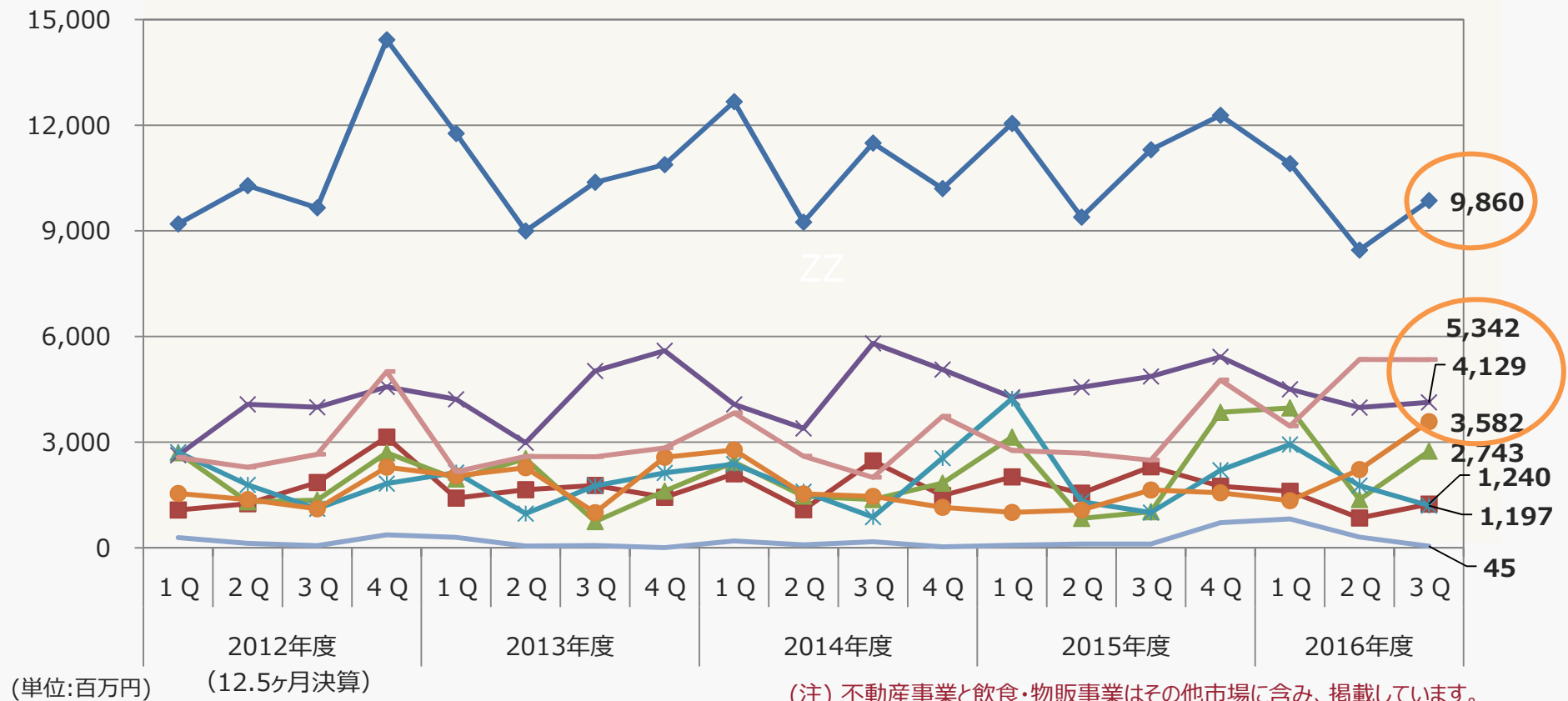
➤ 第3四半期は余暇施設市場、その他市場において大型案件の売上計上があったため、前年同期に比べ増収となった
同市場分野の総利益が増加したことなどにより営業増益となった



市場分野別売上高の四半期推移

➤ 第3四半期の市場分野別の状況は、前年同期に比べ1億円以上の大型案件の計上が少なかった専門店市場、広報・販売促進市場が減少したものの、余暇施設市場ではホテルやアミューズメント施設の改修需要により増加、また、その他市場ではブライダル、オフィス、研修施設等の大型案件を計上したことで需要が増加した

◆ 専門店市場
 ■ 百貨店・量販店市場
 ▲ 複合商業施設市場
 × 広報・販売促進市場
✱ 博物館・美術館市場
 ● 余暇施設市場
 — 博覧会・イベント市場
 — その他市場（飲食物販含む）



(単位:百万円)

(12.5ヶ月決算)

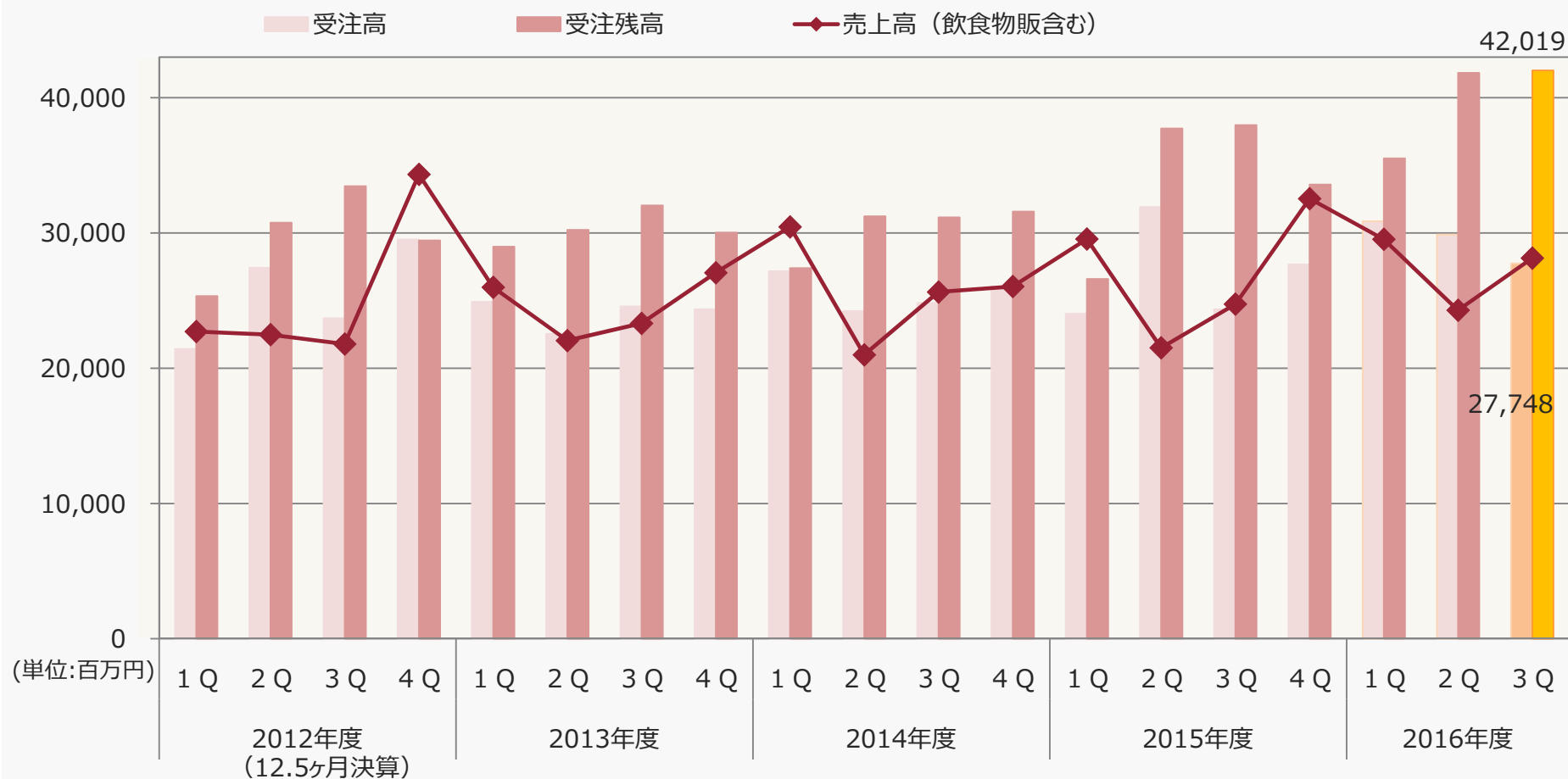
(注) 不動産事業と飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。
 なお、2014年度より不動産事業は子会社の売却により除外しています。

市場分野別の状況

＜第3四半期＞ (単位:百万円)	2015年度		2016年度		売上構成率		ポイント
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	前期	当期	
専門店市場	32,740	△2.0%	29,222	△10.7%	43.2%	35.7%	書店や食品などの店舗改装のほか、アパレルブランド、インポートブランドの店舗改装を手掛けたものの、前年同期に比べ減収
百貨店・量販店市場	5,867	3.9%	3,689	△37.1%	7.7%	4.5%	首都圏を中心に百貨店および量販店の店舗改装を手掛けたが、百貨店の改装需要の減少により前年同期に比べ減収
複合商業施設市場	5,005	△5.1%	8,084	61.5%	6.6%	9.9%	関西圏の大型施設改装に加え、首都圏含む主要駅に隣接する商業施設の改装を手掛け、前年同期に比べ大幅な増収
広報・販売促進市場	13,700	3.2%	12,615	△7.9%	18.1%	15.4%	電機、住宅関連メーカー等のショールーム、企業PR施設のほか食品メーカーの周年事業の展示制作を手掛けたが、大型案件の計上が少なく前年同期に比べ減収
博物館・美術館市場	6,542	35.1%	5,898	△9.8%	8.6%	7.2%	琵琶湖博物館、小田原城天守閣などの展示改修を手掛けたが、大型案件の完工が少なく前年同期に比べ減収
余暇施設市場	3,720	△35.5%	7,143	92.0%	4.9%	8.7%	ホテル改装需要が増加していることに加え、遊園地などのアミューズメント施設の改装を手掛けたことから、前年同期に比べ増収
博覧会・イベント市場	287	△36.3%	1,170	307.7%	0.4%	1.4%	ミラノ万博の計上に加え、国際的な政治イベント、公共イベントを手掛けたことにより、前年同期に比べ大幅な増収
その他市場	6,055	△6.1%	12,233	102.0%	8.0%	14.9%	オフィス、研修施設やプライダル施設のほか、学校関連の施設などを多数手掛け前年同期に比べ大幅な増収
ディスプレイ事業 小計	73,918	△1.6%	80,057	8.3%	97.5%	97.7%	
飲食・物販事業	1,883	△4.7%	1,913	1.6%	2.5%	2.3%	当社が改装を手掛けた施設への新規出店等もあり、前年同期に比べ増収
合計	75,802	△1.7%	81,970	8.1%	100.0%	100.0%	

受注高・受注残高の四半期推移

- 第3四半期の受注高は、次年度分の売上に寄与する受注が加わったこともあり、前年同期に比べ増加した
- 受注残高は、専門店市場、複合商業施設市場、博物館・美術館市場などで大型案件の受注があったため前年同期に比べ増加した



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

市場分野別の受注高・受注残高の状況

- 受注高は、大手百貨店の改装が減少したものの、駅ビルなど大型商業施設の改装や首都圏を中心としたホテル、アミューズメント施設の改装、オフィス・研修施設や空港施設等の受注が増加。そのため、前年同期に比べ10.2%の増加
- 受注残高は、大型案件の売上計上があった博覧会・イベント市場、その他市場が減少したものの、書店・化粧品などの店舗やインポートブランド、首都圏の再開発にともなう商業施設の環境演出、歴史系博物館、ホテル、アミューズメント施設などの改装関連の需要が増加したことなどにより、前年同期に比べ10.7%の増加

＜第3四半期＞ (単位:百万円)	2015年度		2016年度		受注高 前年同期比 増減率	受注残高 前年同期比 増減率
	受注高	受注残高	受注高	受注残高		
専門店市場	33,503	10,602	31,412	11,920	△6.2%	12.4%
百貨店・量販店市場	5,872	1,418	3,689	927	△37.2%	△34.6%
複合商業施設市場	6,275	5,294	11,034	7,451	75.8%	40.7%
広報・販売促進市場	15,360	4,934	14,152	4,831	△7.9%	△2.1%
博物館・美術館市場	5,161	5,759	7,525	7,610	45.8%	32.1%
余暇施設市場	4,963	2,422	7,466	3,648	50.4%	50.6%
博覧会・イベント市場	850	1,281	908	412	6.7%	△67.8%
その他市場	8,333	6,259	12,303	5,217	47.6%	△16.7%
合 計	80,320	37,972	88,492	42,019	10.2%	10.7%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

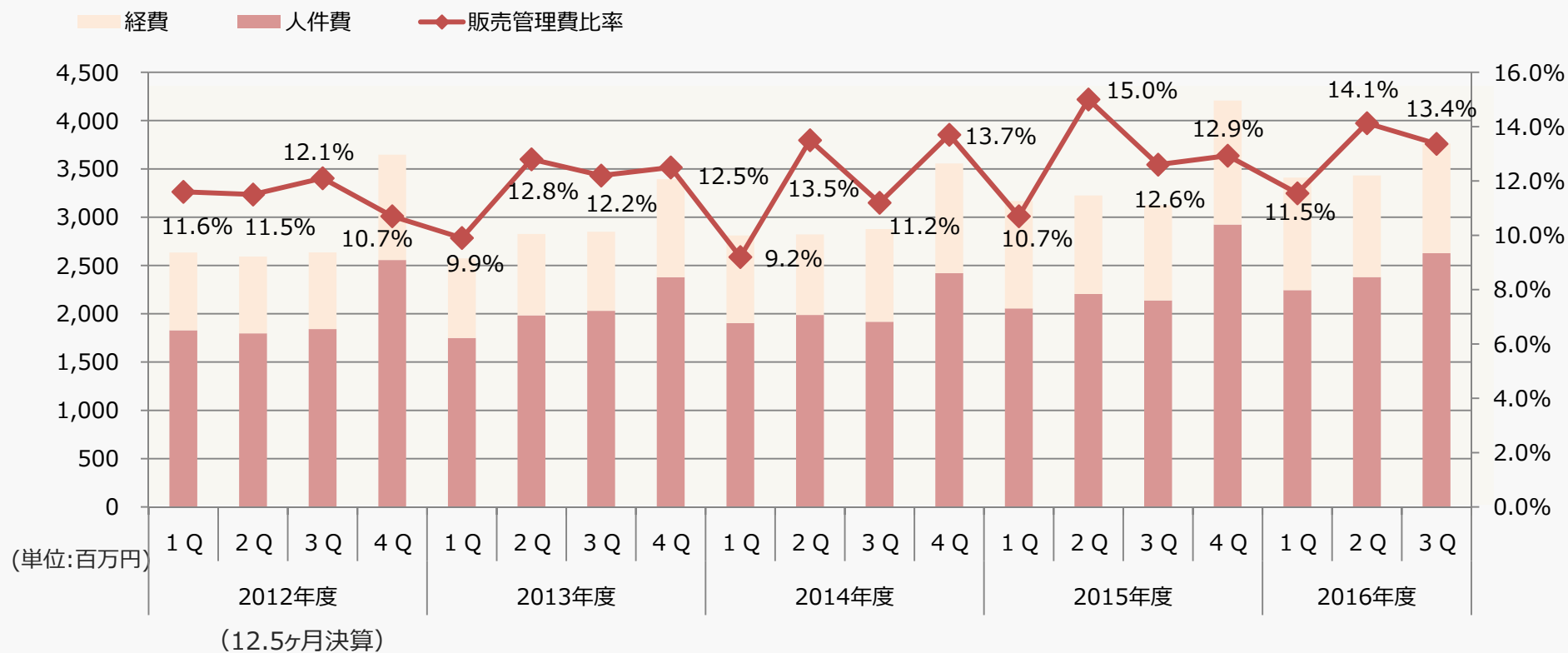
売上総利益率の四半期推移

- 第3四半期は、複合商業施設市場、余暇施設市場、その他市場の売上の増加に加え、複合商業施設市場、余暇施設市場、その他市場などの大型案件の原価管理の徹底により、第2四半期に比べ売上総利益率が大幅に向上した



販売管理費の四半期推移

➤ 第3四半期の販売管理費は、人員、賞与の増加による人件費の増加、事務所賃料やシステム・IT関連保守費用の増加による経費の増加があった



通期
 販売管理費比率 【11.4%】 【11.8%】 【11.7%】 【12.7%】

経費	805	795	793	1,091	824	842	819	1,016	907	834	960	1,136	1,111	1,021	985	1,284	1,166	1,051	1,134
人件費	1,829	1,797	1,842	2,556	1,749	1,984	2,030	2,379	1,903	1,988	1,917	2,420	2,055	2,204	2,139	2,924	2,244	2,380	2,627
販管費計	2,635	2,593	2,635	3,657	2,574	2,826	2,849	3,395	2,811	2,823	2,878	3,556	3,167	3,226	3,124	4,208	3,411	3,432	3,762

(単位:百万円)

連結貸借対照表

(単位:百万円)		2015年度	2016年度 第3四半期	前期末比 増減額(率)		ポイント
資 産	流動資産	49,670	52,233	2,563	5.2%	売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少したことにと もない現金及び預金が増加、仕掛品の増加もあり前期末に 比ベ25億63百万円の増加となった
	固定資産	15,586	15,616	30	0.2%	のれん償却、減価償却の実施があったものの、システム・I T投資、 のれん発生、投資有価証券の時価増加により、前期末に比ベ30 百万円の増加となった
	資産合計	65,256	67,849	2,593	4.0%	
負 債 純 資 産	流動負債	27,724	27,859	135	0.5%	仕入債務の減少、未払金の減少などがあったものの、前受金の増 加により、前期末に比ベ1億35百万円の増加となった
	固定負債	5,911	5,954	42	0.7%	投資有価証券の時価増加に伴う繰延税金負債の増加などによる もの
	負債合計	33,636	33,813	177	0.5%	
	純資産	31,619	34,036	2,416	7.6%	配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の増加により前期 末に比ベ24億16百万円の増加
	負債純資産合計	65,256	67,849	2,593	4.0%	

連結損益計算書

＜第3四半期＞ (単位:百万円)	2015年度		2016年度		前年同期比 増減額 (率)		ポイント
	実績	対売上高 構成率	実績	対売上高 構成率			
売上高	75,802	100.0%	81,970	100.0%	6,168	8.1%	駅周辺の大型商業施設の改装需要の旺盛な複合商業施設市場、ホテルやアミューズメント施設の完工があった余暇施設市場、オフィスや研修施設、ブライダル施設等の大型案件があったその他市場が伸長し8.1%の増収となった
売上総利益(率)	13,665	18.0%	16,483	20.1%	2,817	20.6%	売上高の増加と徹底した原価率低減策の実施により2.1ポイント向上した
販売管理費(率)	9,517	12.6%	10,606	12.9%	1,088	11.4%	人員増加、賞与引当金増加のほか、事務所賃料、システム・IT関連保守費用などにより人件費、経費ともに増加
営業利益(率)	4,148	5.5%	5,877	7.2%	1,729	41.7%	販売管理費の増加を売上高の増加、総利益率の改善によって吸収し前年同期に比べ41.7%の増益となった
経常利益(率)	4,279	5.6%	6,049	7.4%	1,769	41.3%	営業利益の増加により前年同期に比べ41.3%の増益となった
特別利益	0	0.0%	1	0.0%	1	—	
特別損失	178	0.2%	14	0.0%	△163	△91.7%	前年同期はグループ子会社の事業構造改善費用を計上
親会社株主に帰属する四半期純利益(率)	2,564	3.4%	3,978	4.9%	1,413	55.1%	経常利益増加により、前年同期比55.1%の増益

2016年度 連結業績予想

- 最高売上高の更新および営業利益・経常利益の8期連続の増益・4期連続の最高益更新、当期純利益の最高益更新を目指す

(単位:百万円)	2015年度			2016年度			ポイント
	実績	対売上高 構成率	前期比	予想	対売上高 構成率	前期比	
売上高	108,340	100.0%	5.1%	115,000	100.0%	6.1%	引き続き採算性を重視した受注をおこなうものの、現時点の受注環境は堅調であり、前期に比べ6.1%の増収を計画している
営業利益(率)	6,033	5.6%	15.8%	7,000	6.1%	16.0%	販売管理費は増加するものの、売上高の増加および採算性の向上により増益を計画している
経常利益(率)	6,200	5.7%	14.1%	7,100	6.2%	14.5%	営業利益、経常利益とも4期連続の最高益更新を目指す
親会社株主に帰属する 当期純利益(率)	3,841	3.5%	20.3%	4,500	3.9%	17.1%	最高益更新を目指す
1株当たり当期純利益	69.05円			80.89円			
1株当たり配当金	30.00円			(予想) 38.00円 (記念配当2円含む)			配当性向40%以上を方針として、高い株主還元を実現する
ROE (自己資本当期純利益率)	12.5%			12.5%以上			利益の向上および増配・自社株買い等の資本政策の検討を適宜おこないROE12.5%以上を維持する

(注) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

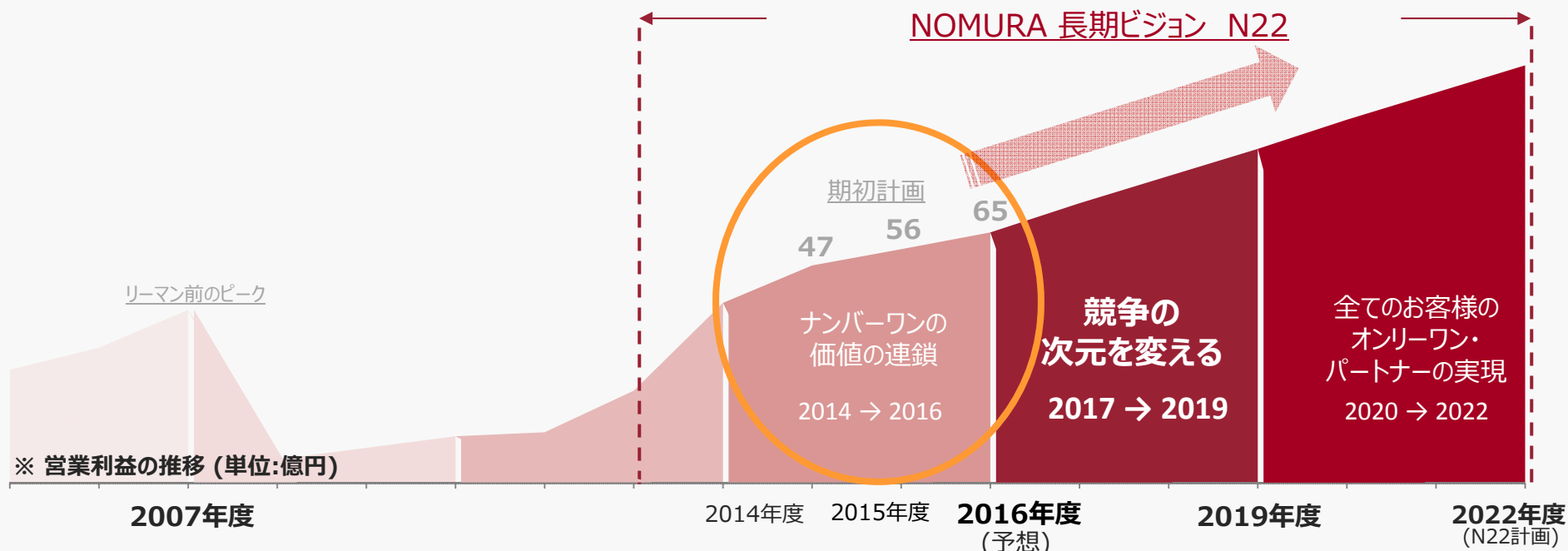
中期経営計画（2014-2016）業績目標

(単位:百万円)	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 業績目標
売上高	103,129	108,340	115,000
営業利益	5,211	6,033	7,000
経常利益	5,434	6,200	7,100
当期純利益	3,193	3,841	4,500
1株当たり当期純利益 (円)	57.41	69.05	80.89 以上
ROE (自己資本当期純利益率)	11.1%	12.5%	12.5% 以上

(注1) 中期経営計画の2016年度 業績目標は2016年10月4日に発表した時点の数値です。

(注2) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

持続的成長のロードマップ



営業利益 (百万円)	5,211	6,033	7,000	→	10,000
ROE	11.1%	12.5%	12.5%以上	→	15.0%
1株当たり 当期純利益	57.41円	69.05円	80.89円	→	110.00円

(注) 実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。